



平成 24 年 3 月 30 日

自動車局環境政策課

## オフサイクルにおける排出ガス低減対策検討会のとりまとめについて

### 1. 概要

最新の排出ガス規制であるポスト新長期規制適合車において、公定モードを外れた走行状態（オフサイクル状態）に窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）排出量が増大する事例が確認されたことを踏まえ、最新規制適合車におけるオフサイクル状態での排出ガスの実態を把握するとともにオフサイクル状態での排出ガス対策のあり方を検討するため今年の 8 月、国土交通省と環境省が合同で、学識経験者等からなる検討会を設置しました。今般、検討会では、ディーゼル重量車を対象に排出ガス規制成分を著しく悪化させるエンジン制御（ディフィートストラテジー）の適用禁止及びディフィートストラテジー有無の検証等からなるオフサイクルにおける排出ガス低減対策をとりまとめました。

### 2. 委員構成

大聖 泰弘	早稲田大学大学院教授
飯田 訓正	慶應義塾大学教授
小田 曜作	（独）交通安全環境研究所自動車審査部長
後藤 雄一	（独）交通安全環境研究所環境研究領域長
小谷野 眞司	（財）東京都環境整備公社東京都環境科学研究所主任研究員
塩路 昌宏	京都大学大学院教授
土屋 賢次	（財）日本自動車研究所エネルギー・環境研究部長

### 3. 今後の対応

検討会のとりまとめを受けて、道路運送車両の保安基準に基づく告示等関連規定の改正を予定しています。

（お問い合わせ先）

自動車局環境政策課 鈴木、加藤

電話： 03-5253-8111（内線42-522）、03-5253-8603（直通）